

監督:生野慈朗 主演:松雪泰子
2月7日(土)全国ロードショー
映画『余命』 乳がん撲滅にさまざまな試みを実施
国立がんセンターとも協力

2009年2月7日(土)公開の映画「余命」は、公開に先立ち、映画にちなんだキャンペーンのひとつとして、「乳がんセルフチェックポスター」を展開しております。

現在多くの女性が「乳がん検診に興味がある」と答えるものの、実際検診に行っている人は約3割にすぎず、またマンモグラフィが上手に活用されていないという調査結果もでています。

“君に届け、いのちへの想い”をキャッチフレーズにし、観た人にいのちについて考えてもらいたいと考える映画「余命」では、乳がんについてより身近に感じていただき、自らの乳がんチェックを積極的に行っていただきたく、本キャンペーンを企画・実施する運びとなりました。

『乳がんチェックポスター』の掲出

自分でも簡単にできる乳がん触診の方法を分かりやすく図解したポスターを制作し、「余命」上映館の女子トイレに掲出。

【目的】

若い年代にはまだまだ関心が低い「乳がん」。触診でも乳がんは発見できる可能性があります。乳がんに対する意識を高めていただけたらと考え、身近な場所にポスターを掲示していきます。

【掲出場所】

「余命」上映予定の映画館の女子トイレ

映画館は男性よりも女性の来場者数が多く、またポスターを見たらすぐにセルフチェックを行ってもらえるように、この場所にポスターを掲示しております。



国立がんセンターとも協力

厚生労働省がん対策推進室より、全国保健所 517 箇所、保健書設置施設市 87 箇所、全国がん関連病院 353 箇所、計 957 箇所をポスターを掲出していただいています。

- ・乳がんチェックポスター3万枚
- ・国立がんセンタータイアップポスター2万枚

作品について

作品概要

作品名 : 「余命」
監督 : 生野慈朗
原作 : 谷村志穂「余命」(新潮文庫刊)
出演 : 松雪泰子、椎名桔平、林遣都 他
脚本 : 河原れん、生野慈朗
企画・製作・配給 : 株式会社SDP
公開 : 2009年2月7日全国ロードショー
製作 : 「余命」製作委員会
制作プロダクション : ビーワイルド
主題歌 : 『Get A Life ~Again~』twenty4-7 (rhythm zone)



「余命」イメージカット

～ストーリー～

敏腕外科医・百田滴(松雪泰子)は結婚10年目に妊娠が発覚。過去に乳がんを患い、子供を授かることを期待していなかっただけに、カメラマンの夫・良介(椎名桔平)と至福の時間を味わう。しかし喜びもつかの間、右胸に違和感を持った滴は、自己診断の結果、全身性の乳がん再発。

出産は38歳の滴にとって最後のチャンス。しかし産んだところで自分は育てられない。子供を諦めて治療に専念すべきか、ガンの進行を早めることになって子供を生むか、病を知り尽くした滴は苦渋の決断を迫られる……。

想像を絶する葛藤、挫折、そして決心。切なく儂い人生、それでも希望に満ちたエンディングに、きっと涙は零れ落ちる。

株式会社SDPについて

設立 : 2005年2月
代表 : 細野義朗
